

株式会社高橋工業



代表取締役
高橋 和志氏

◆企業の概要

住 所：気仙沼市波路上内沼38番4
設 立 年：昭和60年（創業江戸時代）
業 種：鋼構造物工事
資 本 金：15百万円
従業員数：15名

◆事業の概要

現社長は創業江戸時代の船大工7代目。気仙沼で造船業を主体として事業展開後、陸上工事業へ進出。造船技術で培われた金属加工技術を生かし、建築関連の広い分野において設計から製作・施工まで一貫した体制で、高度な独自技術により現代の感性を表現できる稀な存在に成長。



本社社屋



工場内風景

造船技術と陸上建築技術の共通点を独自に共存させ、独創的な曲線構造をもつ金属金物の作品を多数製作



せんだいメディアテーク（仙台市）



メディアテーク内部



アルミ合金曲面屋根
（東京都千代田区皇居内）



菅野美術館（塩竈市）



ランバンティック（東京都銀座）

◆受賞の理由

造船業時代に培った設計、現図、鋳鉄、溶接の4つの技術を生かし、建築関連分野で主に複雑な形状を有する曲線構造をもつ金属金物（鋼・アルミ合金など）を、CADシステムやデータシステム管理のもと造船技術と融合した創造意欲に満ちた作品として多数製作。造船技術と陸上建築技術との共通点を独自の目線で共存させながら、相違点を見出し特化技術として応用している手法は独創性があり高く評価できる。

クライアントは、主に顧客から依頼された建築家やデザイナーであり、当初から打合せに参画しあらゆる要求に応じた受注体制をとっている。造船業から継続する特殊で高度な技術を応用し、建築の主要構造体および意匠・デザイン分野に進出している競合他社はない。

技術の承継のために造船技術と建築のコラボレーションをテーマに施工実績を集積しているが、今後も持続的に事業を推進するためには技術を支える技術者の育成が必要不可欠。当社では、人材の育成こそものづくりの原点であるとの認識のもと、現場におけるOJTはもとより計画的に定期社内研修を開催し理論・実技キャリアの向上を図っている。

新規・独創性の研究開発においても、環境に配慮したエコ素材のコールテン鋼（無塗装で耐用年数100年）の使用を積極的に推進し、その経年変化の暴露試験を社内実施中。また、有機溶剤を利用しない塗装として、古来より武具の錆び止めとして用いられてきた漆の鉄板インテリア製品への応用技術・施行性および経済性について独自に研究開発を行っている。

代表作である「せんだいメディアテーク」や「ランバンティック銀座店」（ともにグッドデザイン賞受賞）など、鉄を前面に押し出した新しいジャンルの構造とデザイン表現は他の追随を許さない。海外プロジェクトからの受注も含め独自の建築技術は各方面から注目を集めており、この分野での将来性が大いに期待される企業である。